

# かわにし

議会だより

第115号

2013

10.15



## 平成24年度決算

小松小校舎新築に着手	2
町有施設の在り方など2議員が町政をたず	10
議員報酬引き下げ	14
追跡 虚空蔵山西線いよいよ日程に	20

## 今年は豊作 稲穂が重い

P16に関連記事 玉庭小学校

# 耐震化事業

# 小松小 校舎新築に着手



国の23年度3次補正予算で小松小学校耐震化事業に取り組む（平成25年10月撮影）

## 平成24年度主な事業

①道路整備事業	
三枚床道環線	1億126万円
北郷ハツ口線	2999万円
菊田桧線	2318万円
防雪柵設置工事	3億1110万円(繰越明許)
町道舗装工事	1億980万円(繰越明許)
②冬期交通確保事業	2億5726万円
③小松小学校耐震化事業	6億858万円(繰越分)
④旧二中施設整備	4617万円

**平**成24年度決算の特徴は、次のとおりである。

①実質単年度収支は7408万円の赤字となった。財政調整基金へ9392万円を積み立て、基金残高は6億1755万円となった。

②財政構造の弾力度を示す経常収支比率は、前年度より3ポイント高い91・8%。公

債費比率は元利償還のピークを過ぎているため9・5%と前年と同じだった。

③最大財源の地方交付税は48億4234万円、前年比マイナス1・8%（マイナス8796万円）、置賜広域病院組合分を差し引いた本町純粋分は35億4595万円、前年度比1億565万円の減額とな

**基金の残高**

	財政調整基金	町債管理基金
平成23年度	5億2363万円	2億7万円
平成24年度	6億1755万円	2億18万円

## これまでの最高額

# 財政調整基金6億円超

## 9月定例会のあらまし

9月定例会が9月3日から20日までの18日間の会期で開かれました。

第1日目に、財政健全化法にかかる報告2件の後、契約1件を可決、条例5件、平成25年度会計補正予算5件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に、また平成24年度会計決算認定7件を決算特別委員会に付託しました。

第2日目に、2人の議員が一般質問を行い、町有施設の再生計画などを取り上げ、町政をただしました。

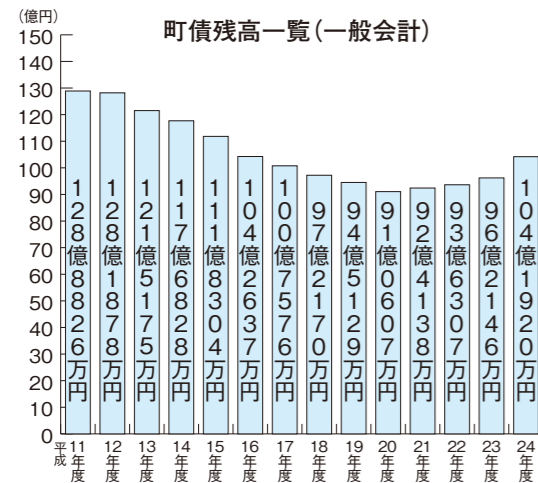
第3日目に、契約3件を可決、この日以降常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会分科会を開催し、議案を審議しました。

最終日に、教育委員の再任に同意、付託した条例、補正予算、決算認定を原案通り可決し、議員報酬の引き下げ条例を可決しました。意見書3件、決議1件を可決し、議員定数に関する特別委員会を設置して閉会しました。

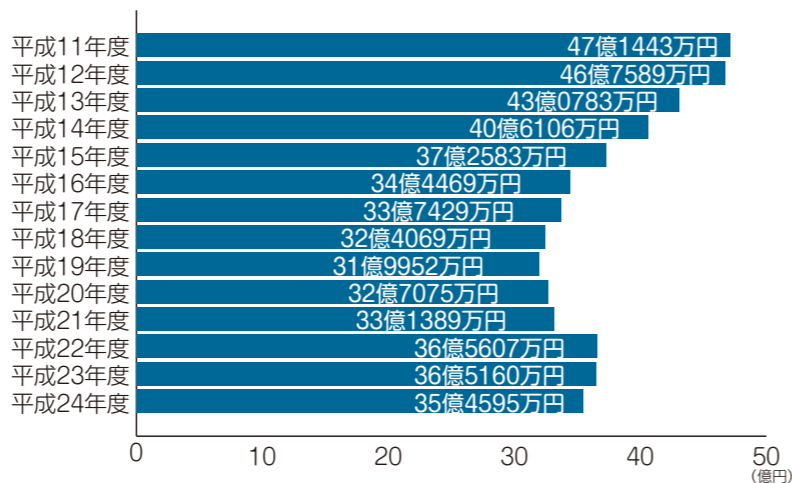
なお、今期定例会の傍聴者は15人でした。

## ここが知りたい

### 町債(借入金)の推移



### 地方交付税の推移(置賜広域病院組合分を除く本町純粋分)





国の緊急経済対策で八相山線の路面舗装が行なわれる。(24年度からの繰越事業)

### 平成24年度各会計決算の議決状況

会計別	歳入	歳出	議決の内容
一般会計	100億5474万円	98億5787万円	全員賛成により認定
国民健康保険事業特別会計	19億4034万円	19億1941万円	賛成多数により認定(反対1人)
下水道事業特別会計	5億9454万円	5億8153万円	全員賛成により認定
農業集落排水事業特別会計	8509万円	8256万円	全員賛成により認定
介護保険事業特別会計	16億1188万円	16億0280万円	賛成多数により認定(反対1人)
後期高齢者医療特別会計	1億6714万円	1億5345万円	賛成多数により認定(反対1人)

水道事業会計	※3収益的	5億762万円	4億8071万円	全員賛成により認定
	資本的	6920万円	※12億1006万円	

※1 不足する1億4086万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補った。

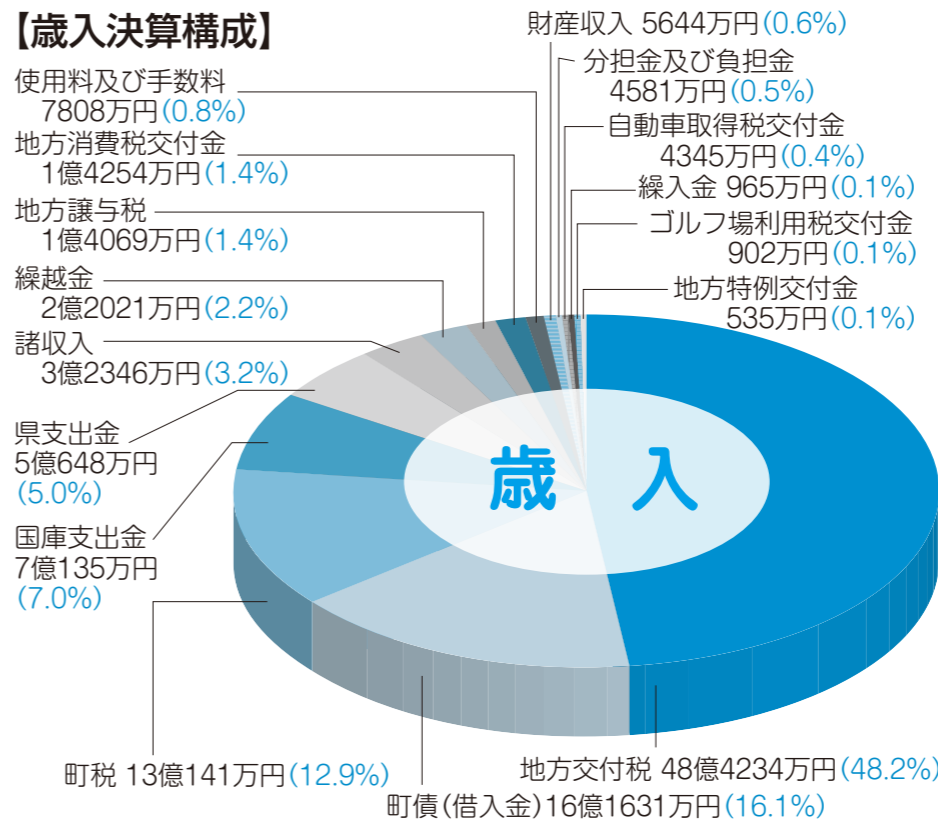
財政指標 平成24年度一般会計等健全化判断比率					
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	公営企業会計に係る資金不足比率
—	(一般会計の赤字額が※2標準財政規模に占める割合)	(全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合)	(全会計の償還額が標準財政規模に占める割合)	(将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合)	(資金不足の額が事業規模に占める割合)
川西町	0%	0%	12.90%	131.20%	0%
国	早期健全	14.36%	25.00%	350%	20.00%
	財政再建	20.00%	30.00%	—	—

※2 標準財政規模 標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。

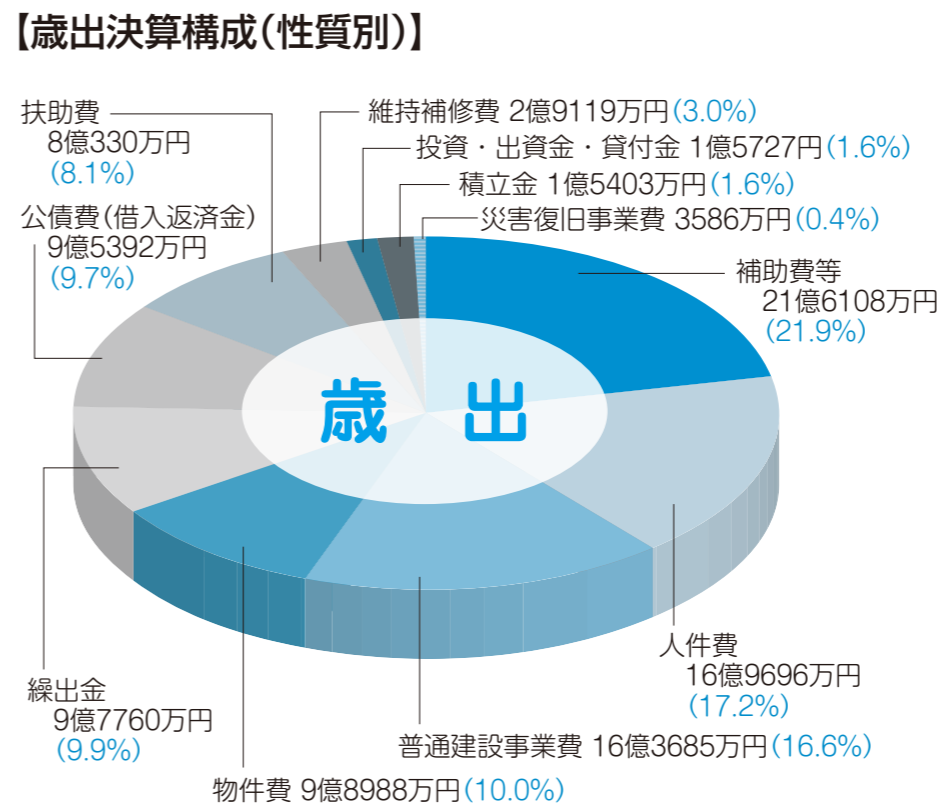
平成24年度の本町標準財政規模は61億9296万8千円。

※3 「収益的」収支は水道水給水の収入と支出。「資本的」収支は水道施設の設備に係る収入と支出。

## 一般会計決算 歳入 100億5474万円



## 歳出 98億5797万円



## 決算 審議

# 環境し 境い 一層の 財政健全化を

決算特別委員会は、総務文教・産業厚生常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審議しました。ここでは、分科会審議での質疑、町長に対する質疑を要約してお伝えします

# 健康・長寿の町をめざし 検診受診率の向上をはかれ



健康増進事業 熱心に聞き入る人たち

**問** 検診受診率の向上対策として、モデル地区を指定した取り組みを実施したとあるが。

**健康福祉課長** 大塚地区を対象に、未受診者に再通知を行い、61人中50人の受診効果があった。平成25年度には、これを全地区に拡大し、検診受診率の向上に努める。

**意見** 健康・長寿の町をめざし、現在実施している健康増進事業の検証を含め、さらなる事業の充実を図りたい。

**問** 老人クラブへの加入者が減少しているが。

**健康福祉課長** 単位老人クラブ数が減少しており、その原因などを分析中である。

**問** 6次産業化の進み具合が見えてこないが。

**産業振興課長** 拠点施設の整備について、運営主体、建設候補地について検討を進めている段階であり、今後、施設の内容などの検討を

**意見** 単位老人クラブへの助成の充実を図るよう求める。

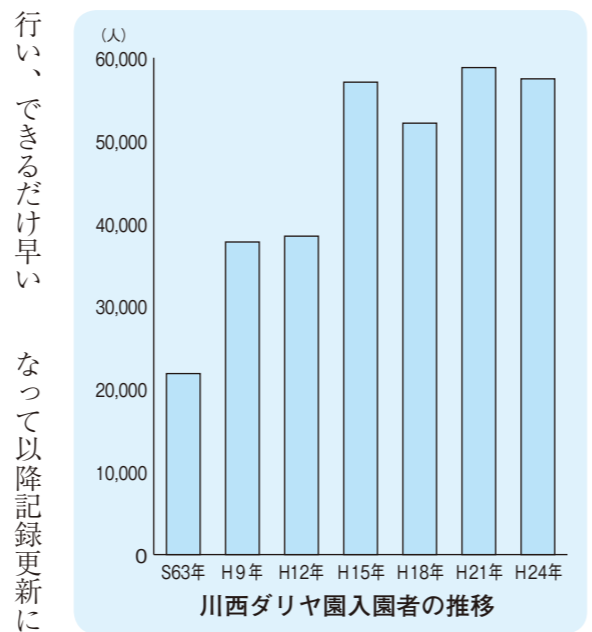
**問** 農家女性起業促進研修事業では、具体的などのようなことを行ったのか。

**産業振興課長** 女性農業者の起業意欲を促進するため、講演会を開催し意識の高揚を図るとともに、農家の女性が自ら実施する先進事例の調査研究を支援する事業である。

**意見** 今後も女性農業者の活躍が期待できることから、単発でなく引き続き支援を図るよう求める。

**問** ダリヤ園の宣伝事業は、あまりうまくいっていないのではないかと。

**産業振興課長** ダリヤ園の広報活動については近隣の観光関係者と連携を図りながら、新潟・福島など隣県にも出向き、エージェント訪問などの誘客活動に努めている。なお24年度実績は、町内在住者9797人、町外からの来園者は4万7653人で、21年に最高と



なっており、以降記録更新に至っていない。(右、グラフ参照) 今後は、大型バスなどの大型車の駐車場の確保として、ふれあいの丘整備構想と連携を図りながら計画的に改善に努める。

**問** 森林病害虫の発生状況と、その対策はどうだったか。

**農地課長** ナラ枯れ被害は平成22年度をピークに減少傾向にあり、松くい虫被害は、町有林では毎年の防除対策により減少している。

## 決算 審議

# 相談業務に後方支援体制を 子育て支援センター



支援センター遊戯室で元気いっぱい子どもたち

**問** 子育て支援センターで受けた相談についてのフォロー体制は。

**教育総務課長** 子育ての方法や子どもの健康、成長発達に関する悩み、家庭環境に関するもの

**意見** 専門機関への紹介が必要な場合も少なくないと思う。センターに対する後方支援の拡充が必要だ。

**問** 小松小学校校舎新築工事の進み具合が心配だ。

**教育施設課長** 東日本大震災の復興事業にかかると職人不足などにより、当初の工程計画より約30日遅れているが、年度内完成をめざし鋭意努力している。

**問** 町税などの収納率向上のため

が多く、センターから教育総務課が報告を受け、内容により保健師などへ連絡し連携を図る体制を整えている。

素早い対応や、専門機関への紹介が必要の場合も少なくないと思う。センターに対する後方支援の拡充が必要だ。

**問** 「幼稚園にも給食を」との声を聞くが。

**教育総務課長** 町立幼稚園では、毎月2回程度の行事食給食を実施している。今後については施設や保護者の負担などの課題があるため、

金給与及び動産の差押など滞納処分を行っているが、その配当・収入金額が少ないようだ。差押及び交付要求は未納額全額に対して行うが、配当収入金額は、それぞれの優先順位や未納者の財産の有無によって左右される。

**問** 病児保育事業がスタートしたがその状況は。

**教育総務課長** 延べ利用人数で町内在住の幼児が105人、町外からの利用者は153人となった。利用料金は町内町外とも同額(2000円)としている。

**問** 就学援助の実数と、その傾向はどうなっているか。

**教育総務課長** 要保護児童及び準要保護児童生徒の実数は、全児童生徒の約一割に達し、年々増加傾向にある。

保護者のニーズ把握が必要であると考えている。

**問** 「川西の夏まつり」は年々盛大に行われ、定着しつつあるが、その経費の町負担は400万円であると承知していた。ところが今決算では、職員の間外手当に数百万円盛り込まれており、実質は700万円だったのではないかと。こうした財政支出で問題はな

# 町長に聞く

平成24年度の決算について、特に政策的なことを町長にたずねました。

## 水道、経営改善計画の見直しを

**問** 平成19年度に発生した水道事業の資金不足を機に経営健全化計画が策定されたが、24年度決算でその半分、5カ年を経過した。この機会にその検証を問う。

**町長** 計画は、①収入の増加対策、②費用の軽減対策、③設備投資の抑制、④一般

会計からの支援、⑤経営判断の適正化、⑥水道事業の広域化の6項目を基本方針としてきた。この間、当初予定になかった諏訪浄水場の解体などにより損益に差は生じたものの、ほぼ計画どおりに累積欠損金が解消し、その他の経営指標も向上している。25年度以降の

5カ年については、広域化の見直しなど、現況に合わせた計画の修正が必要と考えている。できるだけ早期に、水道事業の将来構想を策定し、後期の経営健全化計画の見直しを図り、中長期的な経営改善計画も検討したい。



複合施設として生まれ変わる旧二中。親しみやすい名称を。

## 旧二中の活用計画を明確に

**問** 旧二中については24年度決算額とほぼ同額の25年度予算もあり、さらに来年分と合わせ、約1億2000万円の改修費用を要すると聞くが、活用計画が明確でないと、この大金支出は理解されにくいのでは。

**町長** 広く一般に開放し、住民などの主体的な生涯学習の場を基本としながら、①幅広い交流活動の場、②川西町の歴史・文化を継承し学習するスペース、③大規模災害時の避難施設、備品などを備蓄、供給する機能を、④簡易宿泊できる設備を備えた複合施設とする。

改修工事の済んだ部分から供用を開始するため、名称や条例の検討に入り、有効活用することとしている。

**意見** 早急に名称の公募を行うとともに、今後の活用計画について周知に努め、利用率の向上に取り組みことを求める。



老朽水道管の入れ替え補修を計画的に

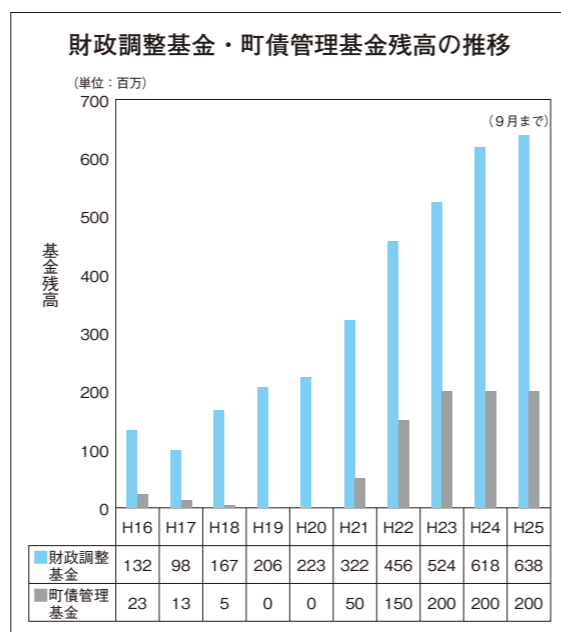
# 補正予算

## 今回の補正は財調が主役

### 6億3785万円史上最高に

一般会計補正予算第4号（4回）の除雪費、12月実施予定のプレミアムが、全員賛成で可決された。アム商品券、県単独道路整備事業例年9月議会に提案されるこの冬の地元負担金などが含まれる。

一般会計の第4号補正でなんと注目を集めるのは財政調整基金である。右のグラフにあるように、この数年調整基金の残高は順調な伸びを示している。9月補正時点で



6億3785万円は、史上最高である。今回の補正の歳入で1億6289万円を返済しているが、これは4月から9月までに取りこぼしして使った分。当初予算で1億8000万を繰り出す予定だったの

で、地方交付税と前年度繰越金が確定した時点で基金に繰り戻しをした。さらに歳出で、2029万円を財政調整基金に積みため、その結果として史上最高となったものである。

### 心強いクッション役

この基金はただの貯蓄ではない。町財政のクッション役だ。急な入り用に即応するため、町債管理基金と合わせた額が基準

財政規模の5パーセント以上であることが目安とされている。9月時点でわが町のこの比率は13パーセントと

## 平成25年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第4号)	99億994万円 (1億2070万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計(第1号)	18億5655万円 (891万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第3号)	5億7288万円 (141万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第3号)	17億1437万円 (184万円を追加補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	8477万円 (193万円を追加補正)	全員賛成により可決

### 平成25年度補正予算の主な内容

(歳出)	
プレミアム商品券	300万円
総合生活支援サービス調査研究(きらり吉島へ)	256万円
冬期交通確保	5500万円
県単道路整備事業の負担金	1904万円
農業施設災害復旧	525万円
公共土木施設災害復旧	191万円
財政調整基金積立て	2029万円
特別会計への繰出金(三会計合計)	△1070万円
広域病院への繰出金	△157万円
(歳入)	
地方交付税	1億5873万円
県支出金	447万円
財政調整基金繰入金	△1億6289万円
前年度繰越金	1億281万円
臨時財政対策債	1393万円

# 一般質問

## 災害時の水(水道)の確保は大丈夫か

町長 — 西置賜などの水系の違う所との連携が必要



橋本欣一 議員

定例会2日目に、2人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

引き下げられる。支給額が引き下げられたことにより、保護者自身の生活はもちろん、最低賃金をはじめとする様々な制度の基準が影響を受けるがどう対応するか。

国政選挙の投票率と選挙違反についての見解

**橋本** 政権交代、憲法改正、原発、消費税問題など関心の高い国政選挙が続いたが本町の投票率は60%と低かった。また、選挙違反により逮捕者が出たが選挙管理委員会の対応と所見は。

**町長** 町内の生活保護家庭は75世帯、96人である。3分の1は高齢者世帯である。70代単身世帯では月額5600円の引き下げとなる。

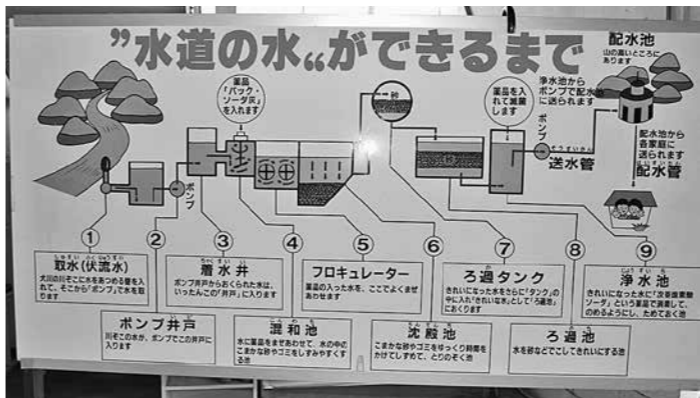
**議員** 若年層の投票率が27パーセントと著しく低く、男女別では女性が低い。投票区の在り方なども検討したい。

選挙違反については誠に残念である。今後とも公正な選挙実施を呼びかけたい。

の給水停止には、災害時相互応援協定により協力を得る。今後、隣接する西置賜の市町との給水連絡管や地下水の利用を検討する。

**生活扶助基準額の引き下げの影響は**

**橋本** 生活保護の生活を支えるための生活扶助基準額が8月から引き下げられた。平成27年まで段階的に



水ができるまでは様々な施設がある

はじめとした衛生面や病院、公共施設、企業などでも大きな影響が考えられるがどうか。

**町長** 本町の水道の供給源の水系には流れ込む中小河川が少なく、河川の極端な濁りは考えにくい。また、災害時

は、生活用水の欠如は、トイレをは

# 役場庁舎を含む公共施設の再生整備を

町長 — 複合化含め第5次総合計画に盛り込む

**齊藤** 今年の3月に策定された「川西町都市計画マスタープラン」には、公共施設の将来像が盛り込まれていなかった。なぜ盛り込まなかったのか町長に聞きたい。

**町長** 今回の都市計画は、都市計画区域の拡大や住宅地、商業地、工業地の配置に土地利用計画及び道路、公園・緑地、河川・下水道などの都市基盤の基

本計画が主であり、施設整備計画は含まれていない。役場や福祉施設、教育施設などの整備計画はそれぞれの分野において検討してい

くこととなる。**齊藤** 現在、再編整備の計画段階にある「町有施設」はあるのか。

**町長** 本町の公共施設は、役場を含め中央公民館、旧町立病院、埋蔵文化財資料展示館、学校などが築50

年前後を経過している。平成27年12月末までに耐震診断を実施する。また、旧町立病院(川西診療所と川西町健康福祉センターとして使用)は、施設全体が老朽化、再生整備について検討中である。**齊藤** 公共施設の建設には、起債(借

金)や補助金がなく、自主財源で、多額の借金を抱える。再生整備は、後世に大きな負担を強いることが最大の課題となる。ただ、ここで立ち止まり、足踏みをするわけにはいかない。

**複合施設は究極の選択**

**齊藤** 本町には、様々な機能を併合した「複合施設」の建設以外に道はない。そのためにも、習志野市や埼玉県宮代町で取り組まれてきた専門家の助言を受けて策定した「公共施設のマネージメント(経営)計画」

を参考に、再編整備計画の策定を求める。町長の見解を求める。

**町長** 再編整備には、財政負担が大きな課題。現有施設の有効活用や、提案いただいた施設の複合化などを検討し、現行計画の見直しを行い効率的な整備を図っていく。

役場のあり方は、町の中核施設、防災機能などを充実させる必要がある。町の将来に

ジョンと合わせて、平成28年度から始まる「川西町第5次総合計画」の中で、その方向性を見出していかなければならない。

**齊藤** 公共施設は、先人たちが多額の税金を投じて築き上げた後世に残してくれた「宝物」、故郷の「象徴・シンボル」である。そのことを重視し再編整備を望む。



齊藤智志 議員



老朽化が激しい健康福祉センター

# 新制度で子育て支援

## 子ども・子育て会議を新設



子育て支援は最重要課題―「地域の子ども・子育て支援」をホンモノに

### 子育てをめぐる現状と課題

- 急速な少子化の進行  
(平成23年合計特殊出生率 1.39)
- 結婚・出産・子育ての希望が叶わない状況
  - ・独身男女の約9割が結婚意志を持っており、希望子ども数も2人以上。
  - ・家族、地域、雇用など子ども・子育てを取り巻く環境が変化。
- 子ども・子育て支援が質・量ともに不足
  - ・家族関係社会支出の対GDP比の低さ  
(日：1.04%、仏：3.00%、英：3.27%、スウェーデン：3.35%)
- 子育ての孤立感と負担感の増加
- 深刻な待機児童問題
- 放課後児童クラブの不足「小1の壁」
- M字カーブ（30歳代で低い女性の労働力率）
- 質の高い幼児期の学校教育の振興の重要性
- 子育て支援の制度・財源の縦割り
- 地域の実情に応じた提供対策が不十分

質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供

保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善

- 待機児童の解消
- 地域の保育を支援
- 教育・保育の質的改善

地域の子ども・子育て支援の充実

子ども子育て3法が平成24年8月国会で可決成立し、「子ども・子育て支援新制度」が創設された。そのことにより、①質の高い幼児期の学校教育や保育の総合的な提供、②保育の量的拡大と確保、

③地域の子ども・子育て支援の充実に向け、市町村単位で様々な事業が推進されることになる。本町では、子ども・子育て支援会議条例を制定し、国の基本方針や県の条例に沿って、

賛成多数により可決 (反対1人)

# 小松保育所 乳幼児受け入れやすく



高まる保育需要に応える小松保育所

本町には、0歳児から2歳児を預かる認可保育所は、町立小松保育所と昨年開園した美女木げんき保育園の2施設である。近年、出世児は減少しているものの、保護者の就労形態や家庭環境の変化から、0歳児から2歳児の保育需要が高まっており、小松保育所における受け入れ枠の拡大のため、年齢区分を削除するもの。改正前は、定員13

0名の内2歳未満が1割、2歳から3歳までが1割の区分があった。改正後は、年齢制限は取り除かれ、130名定員枠の中で、乳幼児は、何人でも受け入れることが可能となった。このことにより、近隣市町村の保育所へ預けたりする管外保育も解消できることになり、町内で安心して生活できるための条例の改正である。

全員賛成により可決

# 新型インフルエンザ発生時 町に対策本部設置

新型インフルエンザは、毎年流行を繰り返す季節性のインフルエンザとは異なり、ほとんどの人がそのウイルスに対する免疫をもっていない。そのため、急速に大規模に世界的大流行となり、生命に影響を与える恐れがある。

を受けて、平成26年2月に本町の行動計画を策定することとなる。これは、そのための新たな条例の制定となる。

全員賛成により可決

国は、新型インフルエンザや新たな感染症発生時の対策のため「新型インフルエンザ等対策特別措置法」を制定した。

本町においても「川西町新型インフルエンザ等対策本部条例」を制定し、平成25年11月県が策定する行動計画

の改正の主な内容は、遺族の範囲を死亡した者の死亡当時における兄弟姉妹を加えるものである。ただし、死亡

兄弟姉妹にも災害弔慰金を支給

国の災害弔慰金支給に関する法律の改正により、本町の「災害弔慰金支給等に関する条例」の一部を改正するもの。

改正の主な内容は、遺族の範囲を死亡した者の死亡当時における兄弟姉妹を加えるものである。ただし、死亡

当時その者と同居又は生計を同じくしている者に限る。

全員賛成により可決

税や手数料などの延滞金を改正

地方税法の改正により、町の税条例の一部の改正を行うもの。市中金利の低下を受けて町税、使用料、手数料の延滞金を次のように改正する。延滞金を14・6%から9・3%に、1カ月以内の延滞金を4・3%から3%に改正するもの。

全員賛成により可決

# 条例

# 5.8% 議員報酬引き下げ

国による地方交付税の削減は許せない

9月定例会では、5・8%・約月額1万5千円の議員報酬を削減するための条例改正を「議員発議」で提出し可決した。

これは、6月定例会で町長など特別職を含む町職員の給与削減議案を可決したことを受け、議員報酬も同様に職員給与の平均削減率5・8%を引き下げるとの合意に達したことによる。

議員提案に至るまでには、参否両論があり、長時間議員間討議を積み上げ決定した。今年の3月制定した議員間討議を重視する

という「議会基本条例」の成果が機能したといっても過言ではない。

今回の町職員給与や議員報酬の削減の背景には、震災復興支援や防災・減災事業の財源確保のため地方交付税を削減するという大変

重要な問題が含まれている。

本来地方交付税は、国が勝手に、職員の給与削減を人質にとり、地方交付税を減額してはならないはずである。

賛成多数により可決 (反対1人)

## 決議

地方交付税法に基づく総務大臣に対する「意見申立」に関する決議

議会は、議員全員の総意として、国に対し意見書を提出する（P15参照）とともに、「決議」を行い、一方的削減が地方交付税法に抵触する疑いがあること

全員賛成により可決

## 教育委員会委員の任命に同意

●佐藤 富士雄 (再任)

教育委員・佐藤富士雄氏が平成25年9月30日をもって任期満了となり、引き続き同氏を平成25年10月1日から委員として選任することに全員賛成で同意した。

住 所 川西町大字上小松

全員賛成で同意

# 人事



# 意見書

# 国に3意見書

# 森林を守る財源を

◎森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、地球温暖化の原因である二酸化炭素の吸収源として重要な役割を果たす森林の整備・保全等を担う市町村に対して、「石油石炭税の税率の特例措置」による税収の一定割合を、それぞれの市町村の森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を求める。

以上の意見書提出にあたって、下段のような反対・賛成の討論があった。

賛成多数により可決 (反対1人)

## 討論がありました

意見書に 反対

黒澤 巖 議員

譲与税創設の財源となつている「石油石炭税の税率の特例措置」は、成立時点ですでに世界中の主要国では廃案となっており、時代遅れである。

人間活動による二酸化炭素が地球温暖化の主たる原因であるとするICPP報告が、元データの捏造によるウソであったことは、2009年に大スキャンダルとして日本を除く世界中で報道された。温暖化説が原発推進の主な動機付けであったという歴史的経過からも反対である。

意見書に 賛成

橋本欣一 議員

我が国の森林は、国土保全、良質な水の安定的な確保など、欠くことのできない多様な機能を有している。特に近年では地球温暖化が世界的な問題となつ

ており、その主要な原因である二酸化炭素の吸収源として森林の役割が大いに期待されている。しかし、森林整備を担う林業は木材価格の低迷など採算性が悪化し、森林の有する多面的機能が減退する懸念がある。財源確保のために森林面積に応じて税を譲与する仕組みをつくるべき。

## 道州制導入に反対

平成20年以来、町村議会議長会では全国大会において、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと」を決議した。本年4月には「町村や国民に対して、ていねいな説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である」とする緊急声明を行った。さらに、7月には「道州制は絶対導入しないこと」を政府・国会に要請してきた。

住民自治を守り、多様な自治体の存在を認めることが国力の増強につながるものと確信し、道州制導入に反対する。

全員賛成により可決

## 一方的な給与減額を行うな

近年の国をはるかに上回る地方の行政改革を適切に評価することなく、復興財源確保のための限定的な国家公務員の給与削減措置に準じて、地方公務員の給与削減を前提とした一方的な地方交付税における給与関係経費の削減には大きな問題がある。

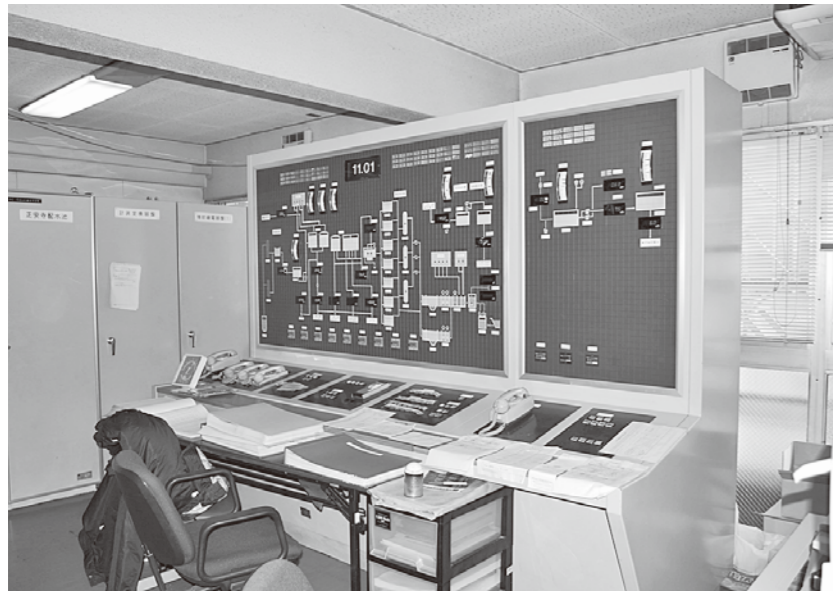
地方と十分な協議を行わないまま一方的に削減したことに抗議し、二度と行わないよう強く求める。

全員賛成により可決



# 上水道

## 計装テレメーターを更新



更新される現在の計装テレメーター

上水道施設計装テレメーター設備更新工事  
昭和53年度に導入した上水道遠方監視装置の更新期となった。八幡原配水池、正安寺配水池その他ポンプ場などの上水道施設をNTT回線を使い、役場庁舎内モニターにより流量・圧力などを監視、

操作するものである。また、携帯電話でも各施設の状態を簡易的に監視でき、異常時にはメール通信もできるようになる。  
請負代金は6800万円です。既存の機器の利便性のため随意契約となる。  
**全員賛成により可決**



川西町の町道で初となる防雪柵（イメージ）

防雪柵設置工事  
請負契約  
冬期間の安全交通の確保を図るために町では、雪対策の一環として順次除雪機、防雪柵などの整備を進めている。  
今回の議会では、国の元金交付金による2か所の防雪柵設置工事の契約を可決した。  
1カ所目は大塚東線の内、下田地区から角の目、東他屋から町田間の一部、施工延長約1000メートル。高性能防雪柵（自動収納型）で別名ハイブリット型と呼ばれるもので、上部がくの字になっているのが特徴である。

契約の金額は1億5960万円。  
2カ所目は、尾長島工業団地前のハツ口宿線に設置するもので、施工延長570メートルで直立型。契約の金額は7066万円である。  
いずれも全員賛成で可決され、この冬に間に合わせるため早期に着工する。町道に設置されるのは初めてである。  
なお、質疑の中で震災復興による職人・資材不足の工期の遅れや資材高騰による予算の追加がないことを確認した。  
**全員賛成により可決**

三枚床道環線  
道路改良工事（2工区）  
三枚床道環線工事の最終段階で中街道から米沢市六郷町長橋に至る施工延長619メートルの区間に新たに歩道を設置するものである。契約の金額は5019万円です。これにより三枚床道環線道路改良工事は終了し、さらに延長の六郷町長橋側も改良されれば一層の利便性と交通安全が確保される。  
この道路は、この後「一般国道287号バイパス（規格の高い道路）」の取り付け道路となる。  
**全員賛成により可決**

契約

初

# 町道に防雪柵

## 大塚東線・ハツ口宿線



表紙の写真

今年も豊作  
稲穂が重い  
9月19日晴天の下、玉庭小学校の稲刈りが全校生徒35名で行われました。この水田は、地元市川逸留さん達の指導で、子供たちが丹精込めて育てたもち米です。  
高学年の児童は稲刈り、低学年の子供たちは刈り取られた稲を杭まで運ぶなど、役割分担を作業がおこなわれました。子供たちは笑顔の中にも真剣に取り組みしていました。  
すっかり実った稲穂のように、子供たちが大きく成長できる環境を、私たち大人が整えなければと痛感しました。

### 9月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により各議員の議案に対する賛否状況を報告します。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15
議員名	橋本 欣一	遠藤 章一	斉藤 智志	高橋 建一	黒澤 照夫	高橋 照夫	淀 秀夫	加藤 俊一	島貫徳石工門	高橋 忠	金子 一郎	佐々木賢一	高梨 勇吉	齋藤 修一
川西町子ども・子育て会議条例の設定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度川西町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度川西町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度川西町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正（議員報酬減額）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出（発議）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町提出議案22件、請願審査0件、議員発議8件で上記以外は出席者全員賛成でした。  
○は賛成、×は反対、一は欠席、議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

### 議長交際費（議会活性化により公開することになりました）

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
4	4	14,996	消防団歓送迎会、県縦断駅伝祝勝会ほか	8	3	11,110	東京川西会交流会ほか
5	8	53,000	東京川西会総会、置賜町村議長会ほか	9	2	9,420	ダリア名花展ほか
6	5	37,250	戦没者追悼式生花代、置賜3市5町会総会ほか	合計		135,776	
7	2	10,000	認定農業者会総会ほか				

# 議員定数を検討

議員定数に関する調査  
特別委員会設置

一昨年議員定数削減の請願が出されたが、議会で審査の結果、現状のままということ

で不採択となった。しかし、議会活性化委員会の中で改選一年前をめどに協議することから、今議会において議員定数と議会組織（各常任委員会他）

の在り方などを調査研究するため、議長を除く13名の議員で「議員定数に関する調査特別委員会」を設置した。平成19年の改選で現在の定数15名となったが、定数の推移は川西町誕生の昭和30年5月

に30名、その後、昭和42年に26名、昭和58年に24名、平成3年に22名、平成11年に21名、平成15年に19名と削減されている。

町民一人一人の声を十分に反映するには議員の数が多のほうが良いという考え方もある一方で、人口の減少、財政問題や近隣市町の議員数などの比較などもあり現在に至っている。

平成19年の定数見直しの際は、目安として人口1000人に対して議員1人と話し合われた経緯がある。具体的な委員会の持ち方は今後検討されるが、平成26年3月議会までに結論を出す。



広報モニターから  
**ひとこと**①  
小松 渡邊 敏和 さん

能である。しかし傍聴してみると多くの町民に関心が高い問題を提起する時には、席が満ち、議場に緊張感がみなぎってくる。

町民と、町長を首長とする町当局、議会との関係を、昔懐かしいリヤカーに例えると、両輪が、町当局と議会であり、引つ張る町民が、主権者として町の未来を決めている。

町当局が様々な施策を実施できるのも、町民の代表である議会の後押しがあるからである。町民は、自らを幸福に導く、町の発展を求めて、町長、議員に権利を付託している。

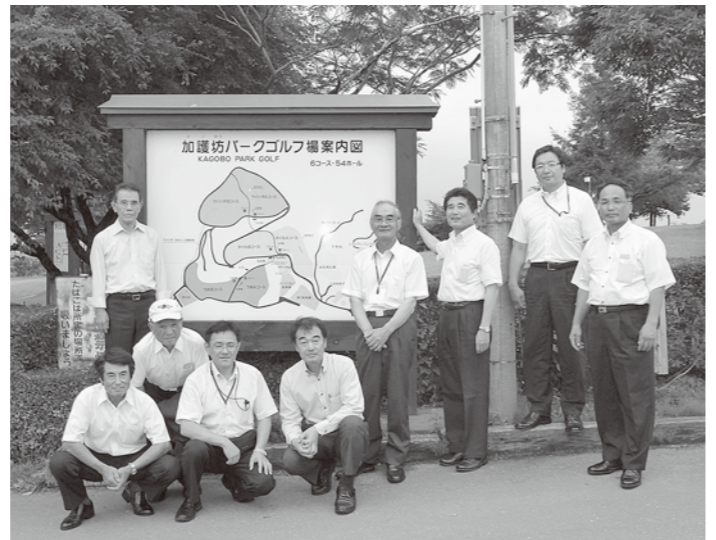
町民が、町の現況を知る情報源のひとつとして町議会だよりがある。たよりを、町民と町、議会との架け橋として読んで欲しい。また、議会に足を運び傍聴したいと思う。



6月議会から議席の配置を一新

## 委員会 レポート

# 総務文教常任委員会 パークゴルフ場 誰もが楽しめるコースを



町民が親しめるコースの設定を(加護坊パークゴルフ場で)

8月1、2日の日程で宮城県大崎市及び仙台市に調査研究を行った。

大崎市では、ふれあいの丘構想のメニューにあるパークゴルフ場の視察を行った。東北で初めてのパークゴルフ場として平成2年に完成した、旧田尻町にある加護坊パークゴルフ場で、その後の増設で4コース36ホールと

なり、山の起伏を利用した、初心者から熟練者まで楽しめるコースになった。コースの設計、芝の管理の苦労を聞き当町のコースづくりに生かしていきたい。

仙台市では仙台文学館を視察した。井上ひさし氏とゆかりのある文学館で、氏の生原稿や小松町の写真などを拝見し、ますますの交流を図っていききたい。

# 産業厚生常任委員会 複合施設こそ 未来の財産を守ることに

8月8日埼玉県宮代町の「公営宮代福祉医療センター」を視察した。

30000人の町で、世帯数は1万3000世帯。産業は、第3次産業が75%を占め、水と緑の豊かな自然環境が



ワンストップサービス(1カ所ですべて用を足せる)の施設はどうか(宮代町で)

バランスよく調和の取れた町である。宮代町は、平成11年に、保健医療福祉に関する基本構想を策定し、平成15年には、6つの機能を併設する公設民営となる「宮代福祉医療センター」をオープンした。6つの機能とは、診療所、老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション(デイケア)、保育所(病後児障がい児デイサービスを含む)の機能を持つ施設である。本町には、40年から50年経過している町有施設が多く存在する。今すぐにも再生計画が望まれる。

# 意見交換会

# おいでをお待ちしています 皆さんの声を政策に

## 意見交換会のご案内

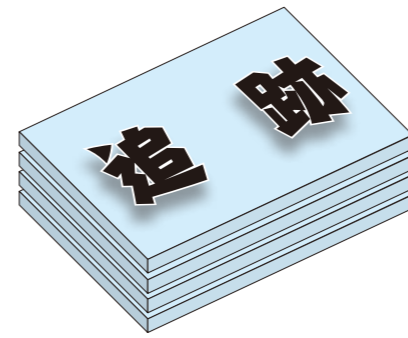
意見交換会を開催します。平成25年度は小松・大塚・中郡の3地区で開催します。平成26年度には犬川・玉庭・東沢・吉島で開催します。多くの方のご参加をお願いします。

- 小松地区** 11月12日(火) 午後6:30~8:30まで  
中央公民館 3階 視聴覚室 (佐々木、高橋忠、島貫、高橋照、斉藤智各議員)
- 大塚地区** 11月13日(水) 午後6:30~8:30まで  
大塚交流センター (齋藤修、加藤俊、淀、橋本各議員)
- 中郡地区** 11月19日(火) 午後6:30~8:30まで  
中郡交流センター (高梨、金子、黒澤、高橋建、遠藤各議員)

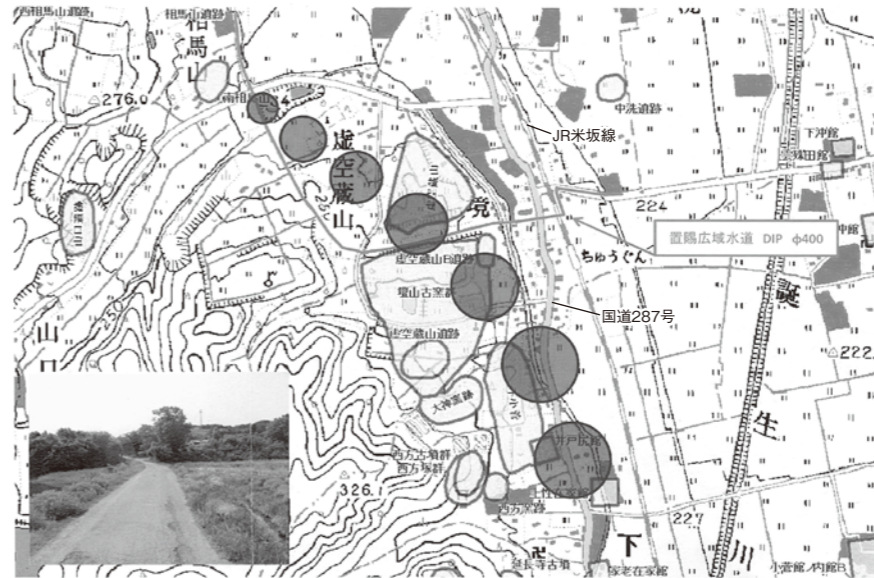
テーマは、「今後の町有施設(役場庁舎など)の在り方」と「議員定数について」を中心に意見交換いたします。都合の良い日にどの地区でもご参加できます。

議会では議会基本条例に基づいて、町民の皆さんと意見交換会を開催することになりました。2年間で町内7地区をまわる計画です。

本年は、小松、大塚、中郡の3地区にお邪魔します。ぜひ、おいでください。日程は次の通りです。



# あれから…… どうなった!



虚空蔵山西線の構想ルート、壇山古窯の下か

## 西回り幹線整備完成に大詰め

# 虚空蔵山西線いよいよ日程に

米沢市と長井西置賜方面を結ぶ国道287号線のバイパスとして整備が続けられてきた西回り幹線の、いよいよ最後の大詰め、虚空蔵山西線の着工が日程に上ろうとしている。

平成22年12月の議会で請願が採択されて以降、米沢・川西両議会議員が米沢市長に要望書を提出するなど、活発な運動が展開されてきたが、昨年5月、11月の2回にわたる事務協議を経て、現実のものとなった。現在、川西町側は国の交付金事業の来年度新規採択にむけて予備設計を委託している。米沢市側の

申請・採択は一年おくれる見通しである。

### 早ければ27年度中に着工か

構想によると、延長は約1700メートル(内川西分1000メートル)、車道2車線で片側に3.5メートルの歩道が付く。想定ルート正面に、壇山古窯群ほかの遺跡が確認されており、道路はその間を縫って進



起点から南を見る。正面が虚空蔵山

むことになる。古代ロマンのバイパスだ。国のヒアリング、採択などが順調に進めば、詳細設計の発注、用地の測量そして買収などに2年。早ければ、27年度中に着工となる。総工費は約9億円。平成7年から始まった西回り幹線整備事業は、八相山線(平成8年~15年)、北に花丘町下小松線(同17~21年)、そして南の虚空蔵山西線で完成となる。

## 齋藤議長

# 全国町村議会議長会から感謝状を贈られる



全国町村議会議長会から、本町議会齋藤修一議長に感謝状が贈られた。

齋藤議長は平成23年6月から本年6月まで2年間にわたり山形県町村議会議長会の会長を務められ、県内の町

村議会の意見などの取りまとめ役として活躍された。さらに全国議会議長会では理事を務められ、特に過疎、豪雪対策では重要な役割を果たされた。

おめでとうございます。

まちの未来が見える  
(9月定例会の傍聴者は15人でした)  
**議会傍聴に  
おいでください**  
次の定例会は12月です

議会傍聴において下さい。TVやインターネット録画とは違った緊張感があります。次回議会は12月初旬開催の定例会です。手続きは簡単です。役場正面階段を上り3階正面で住所・氏名を書きだけです。ぜひ気軽においで下さい。なお詳しくは、議会事務局(42-6674)におたずね下さい。

# 町民の声



## ❖ プロフィール ❖

おくむら ゆい  
**奥村 唯**

飯豊町出身 犬川在住  
夫と1歳の子ども、夫の両親と  
祖母の6人家族  
趣味は、幼い頃から習っていた  
ピアノ  
勤務先 飯豊町の保育所

犬川地区にお住まいの奥村唯  
さんに子育てや町に望むこと  
を聞きました。

たくさんさんの愛情の中  
での子育て

我が家には、1歳の  
甘えん坊の息子がいま  
す。今年の4月から、  
町内の保育園にお世話  
になっており、働く親  
としては、安心して仕  
事ができ本当に助かっ  
ています。両親、祖父  
母が働いているため、  
子どもが保育園に入園  
するまでは、私の実家  
の80歳の曾祖母に子  
守をお願いしていまし  
た。大型連休になると、  
実家には、私の妹や弟  
たちも集まるので、子  
どもは賑やかな連休を  
過ごします。

自然豊かな川西での  
子育て

子どもが保育園から  
帰ると、晴れた日は散  
歩をしています。川西  
の澄んだ空や、田園風  
景を見ながらの散歩は、  
子どもとの癒しの時間  
です。散歩をしている  
と、近所の方々も、子

どもに声を掛けてくれ  
るのがとても嬉しいで  
す。

他にも、近所の方々  
とのコミュニケーション  
を図るため、町の行  
事（お祭り、運動会、  
ビーチバレー大会な  
ど）に積極的に参加し、  
子どもにもたくさん  
の経験をさせてあげたい  
なと思っています。

行政に望むこと

県は来春に待機児童  
ゼロをめざすとの方針  
を出しました。川西町  
としてもぜひ、待機児  
童ゼロに力を入れて  
取り組んでほしいもの  
です。というのも、私



笑顔があふれる家族とともに

自身、出産して仕事復  
帰をするにあたり、町  
の保育園に保育の受け  
入れをお願いしたので  
すが、「途中入所はで  
きません」と、あっさ  
り断られてしまいました。  
た。

私が勤める隣の保  
育園では、待機児童  
ゼロに力を入れている  
ということもあり、  
途中入所も受け入れて  
います。その分、保育  
士の確保が必要となり、  
課題もあると思います  
が、川西町民のために  
も、さらに子育て支援  
を充実したものに  
したいというのが一番  
の願いです。

## 編集の後で

▼議会基本条例の目  
玉の一つである町民  
の皆さんとの意見交  
換会が始まります。  
町民の皆さんにとっ  
ては各議員の顔と声  
を直接見聞きできる  
場であるし、議員に  
とっては皆さんの声  
を生で広く聞ける機  
会であります。ぜひ  
気軽にご参加くださ  
い。

(橋本)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 島貫徳石工門
- 同 黒澤 巖
- 同 齊藤 智志
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 大友喜味雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 鴨 源一
- 斎藤 史郎